簡易PAシステム

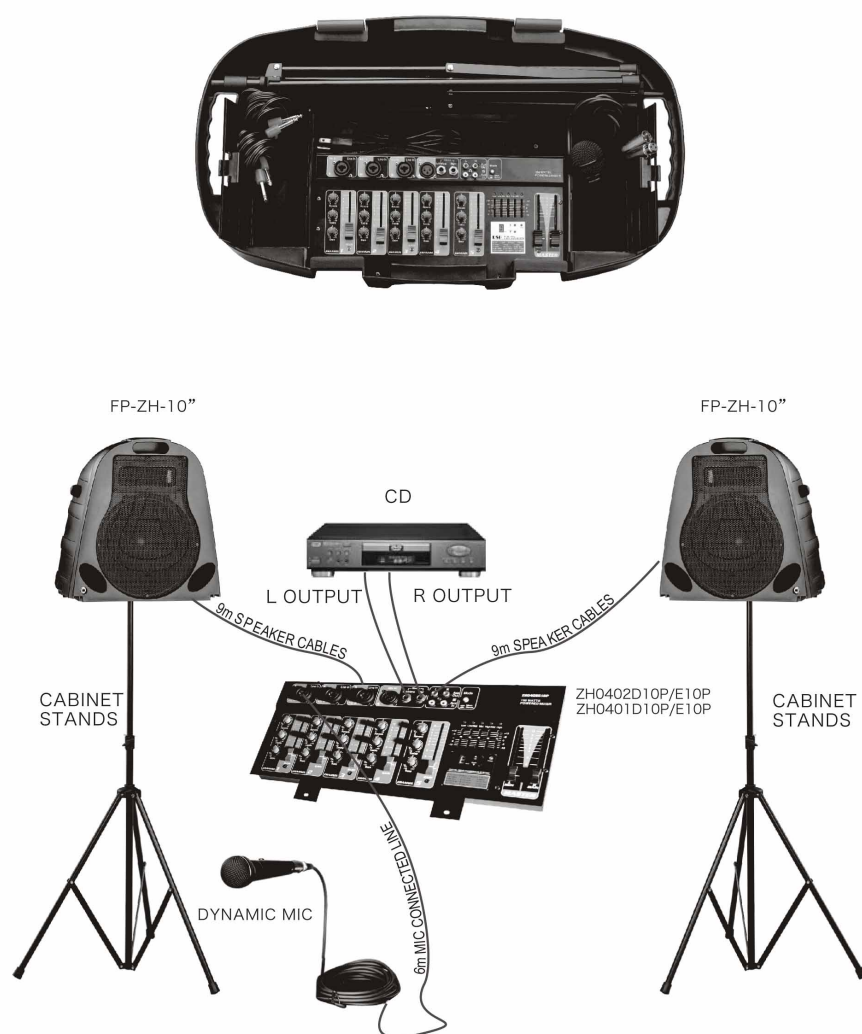
USER'S MANUAL
日本語版

はじめに

この度はClassic Pro PAセット PAeZをお買い上げいただき、誠に有難うございます。製品の性能をフルに活用し、末永くお使いいただくためにこの取扱説明書を必ずお読みください。なお、本書が保証書となりますのでお読みになった後は大切に保存してください。

使用上のご注意

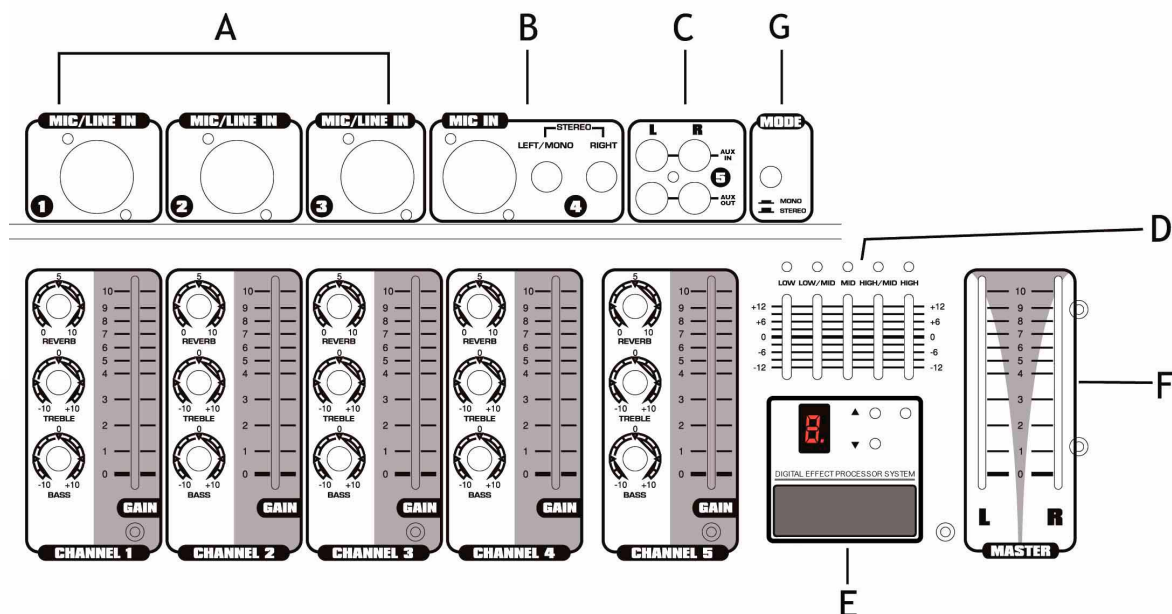
- この取扱説明書にしたがって操作してください。
- 雨、水がかからないよう十分ご注意ください。
- 内部には精密な電子部品が多数実装されています。移動および輸送時には衝撃が加わらないようにしてください。
- 本機の設置場所は直射日光の当る場所やストーブの直前など、高温になりやすい場所を避け、通気性の良い場所でご使用ください。
- 定格電圧AC100V、50/60Hz でご使用ください。
- 本製品を掃除する際は乾いた布を使用してください。
- 電源コードは機材への挟みこみなど、無理な力が加わらないよう、ご注意ください。
- 故障や感電事故を防止するとともに、性能を維持する為にもケースを開けて内部に触れたりしないでください。修理が必要なときには販売店、もしくは正規代理店までお問合せください。

接続例

製品の特徴

1. スピーカー出力: 150Wx2(4Ω)
2. 標準フォン端子（フロントパネル）
3. 4系統のXLRマイク入力端子
4. CD/テープ接続用のRCA入力端子

   *ステレオ信号がマイクに送られると、信号が自動的にカットされます。
5. 各チャンネルに搭載されたトレブル/ベースの2バンドEQ、リバーブ、レベルコントロール
6. DSPエフェクト内蔵
7. 内蔵スイッチング電源
8. 5バンドグラフィックイコライザー

各部の名称

ミキサー部

A: **チャンネル 1-3**：モノラルチャンネル(コンボ入力端子)

・コンボ入力端子：XLR、フォン端子どちらでも接続可能です。

・リバーブコントロール・ノブ：内蔵エフェクトのかかり具合を調節します。

・2 バンド EQ（ベース/トレブル）：低域と高域の調節をします。

・チャンネルゲイン・フェーダー：各チャンネルの音量を調節します。

B. **チャンネル 4**：ステレオチャンネル（XLR 端子、L/R フォーン入力端子）

C. **チャンネル 5**：CD その他プレーヤー用チャンネル。

マスターフェーダーの出力に連動します。（RCA 入出力端子）

D. **グラフィックイコライザー**：周波数ごとにブースト/カットが可能です。

E. **デジタルエフェクト**：15 種類のデジタルエフェクトを内蔵しています。

F. **マスターフェーダー**：全体の音量を調節します。

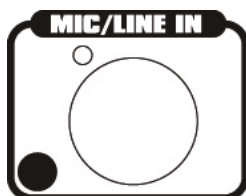
G. **ステレオ/モノ切替えスイッチ**

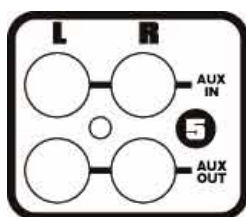
セットアップ方法

スピーカーの接続

1. スピーカーとミキサーを繋いでいるラッチを外して、本体からスピーカーを取り外します。
2. ケースからスピーカースタンドを取りだし、お好みの高さに調整します。スタンドを立てる際は、平らで安定した床、及び地面を選び、高さ調整用のネジをしっかり締めて下さい。
3. スピーカーをスタンドに設置し、任意の方向に配置します。その際、スピーカーがマイクの方向を向いてしまうとフィードバックの原因となるのでご注意ください。
4. スピーカーのフロントパネルにある入力端子と、パワードミキサー背面の出力端子をスピーカーケーブルで接続します。スピーカーの L/R とミキサー出力の L/R が合う様に接続してください。

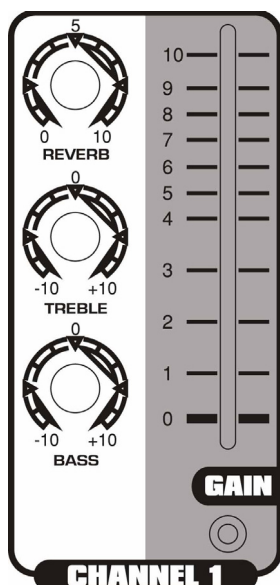
マイクの接続

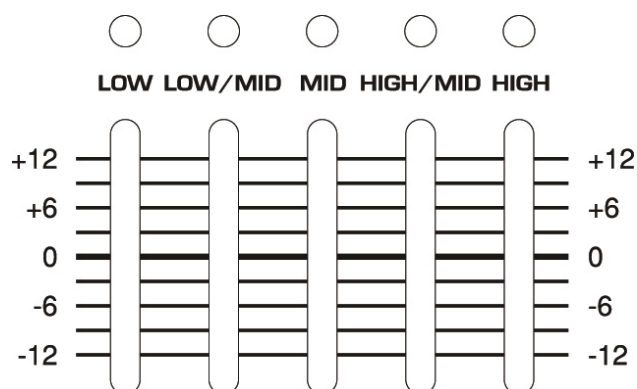
1. ダイナミックマイクもしくは､9～18V 対応のコンデンサーマイクを接続することが可能です。
2. ミキサー部にある 1-4ch のいずれかに XLR ケーブルでマイクを接続します。

CD プレーヤーの接続

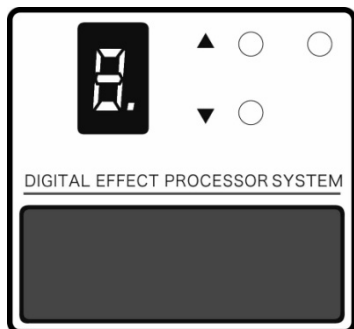
1. CD/テーププレーヤーを接続する場合、RCA/ピンケーブルを使用し、5CH に接続して下さい。
2. プレーヤーの出力とミキサーの L/R を合わせて接続して下さい。
3. CD チャンネルのツマミを回して、トーン、ゲイン、リバーブの調整を行うことができます。

電源を入れる

1. 機材の接続がすべて完了してから電源を入れてください。
2. 電源ケーブルをつなぐ前にミキサーの電源ボタンがオフになっていることを確認して下さい。
3. 電源ケーブルのプラグをコンセントに差します。
4. 各チャンネル及びマスターのフェーダ—が下りていることを確認して下さい。
5. ミキサーの背面にある電源ボタンをオンにします。

各チャンネルの調整

1. 電源を入れたら、マスターフェーダ―をゆっくり上げていきます。
2. 次に、各チャンネルのフェーダ―を上げて、接続された楽器及び機材のレベルを調整します。
   （例、CH1=マイク、CH2=ギター、CH5=CD プレーヤー）
3. 2 バンド EQ（ベース/トレブル）のツマミを回して、各チャンネルのトーンを調整します。
4. 2 バンド EQ のつまみを右に回すと、それぞれの音域のレベルが増幅し、左に回すと減衰します。

グラフィックイコライザー

1. 5 バンドのグラフィックイコライザーで、マスターシグナルの調整を行います。
2. 各周波数帯域を±12dB の間で調節することができます。
3. グラッフィックイコライザーにて、フィードバック補正をすることができます。スライダーを+の方向に上げると、該当する周波数帯域が増幅し、−方向に押し下げると減衰します。

デジタルエフェクト

1. PAeZ にはデジタルエフェクトが搭載されています。
2. 上/下の矢印ボタンにより、ディスプレイに表示されるエフェクトの選択が可能です。
3. エフェクトをかけたいチャンネルのリバーブコントロールのツマミを右に回すことで、そのチャンネルにエフェクトがかかります。お好みで調整して下さい。

デジタルエフェクト一覧		
0	HALL1	コンサートホールなどの広い空間をシミュレートしたリバーブ(残響効果)
1	HALL2	コンサートホールなどの広い空間をシミュレートしたリバーブ(残響効果)
2	ROOM1	小さな空間(部屋)での響きをシミュレートしたリバーブです。
3	ROOM2	小さな空間(部屋)での響きをシミュレートしたリバーブです。
4	ROOM3	小さな空間(部屋)での響きをシミュレートしたリバーブです。
5	PLATE1	鉄板エコーのシミュレーションです。硬めの残響感が得られます。
6	PLATE2	鉄板エコーのシミュレーションです。硬めの残響感が得られます。
7	PLATE3	鉄板エコーのシミュレーションです。硬めの残響感が得られます。
8	CHORUS	異なる遅延時間の音を複数加えて、音に厚みを加えます。
9	FLANGE	音色が音程感をもったような強いうねりを加えます。
A	DELAY1	反響音をシュミレートした機能です。
B	DELAY2	反響音をシュミレートした機能です。
C	CHORUS/ROOM1	コーラストとリバーブを混ぜ合わせたエフェクトです。
D	CHORUS/ROOM2	コーラストとリバーブを混ぜ合わせたエフェクトです。
E	VOCAL CANCEL	ステレオ音源に対して、ボーカルを消す機能です。 (効果は音源により異なり、完全に消すことはできません)
F	ROTARY SPEAKER	スピーカーを回転させたような、ドップラー効果を得ることができます。

スピーカー仕様

10”2ウェイスピーカー	
許容入力	150W
インピーダンス	4Ω
周波数特性	60Hz-20Hz
感度	94dB
クロスオーバー周波数	4KHz

パワードミキサー仕様

出力	150W/4Ω x 2RMS
周波数特性	20Hz-20KHz≦1dB
全高調波歪	20Hz-20KHz≦0.1%
等価ノイズ	≦-114dB
チャンネルEQ	トレブル±15dB ベース±15dB
消費電力	AC100V、50/60Hz

付属品

9mスピーカーケーブル x 2本
キャビネットスタンド x 2本
ダイナミックマイク x 1本
6mマイクケーブル x 1本
ヒューズ φ5 20mm T 3A L x 2つ